

小学校4年生向け  
お絵かき動画を使ったごみ減量プログラム

見て考える  
お絵かき動画



四日市のごみ減量

令和6年3月

編集 一般社団法人ネクストステップ研究会  
発行 四日市市



## 【はじめに】

このプログラムは、令和4年度に四日市市が作成（※1）した「よっかいち ごみ減量お絵かき動画」を活用し、実際に市内の小学校や学童保育所で実践（※2）した内容を一般化して作ったものです。

使用した「お絵かき動画」は、4分程度の動画3本からなっています。お絵かき手法で作られていることから、子どもたちも集中して見ることができ、ごみ問題を自分の生活と重ねて考えられる工夫がしてあります。ぜひ、このプログラムや動画に付属している先生用のマニュアル「教師用活用資料」も参考にいただき、授業で活用されることを期待します。

なお、動画は、四日市市立の小中学校では、教育委員会の学習サイト

「こにゅうどうくん学びの部屋」で、児童・生徒も含めて見ることができます。

また、教師用活用資料（マニュアル）は、「こにゅうどうくんの授業づくり資料館」で見ることができます。

一般には、ネクストステップ研究会のHP ごみ減量事業のページ（[https://ee-nextstep.com/wp2024/project\\_gomi/](https://ee-nextstep.com/wp2024/project_gomi/)）にも掲載してあります。YouTubeでも見ることができます。学童保育所など学校以外の学びの場でもご活用下さい。

※1 本会が市の委託を受けて作成。

※2 浜田小学校では、小学校4年生を対象に、第2章、第3章の授業を行った。（第1章は事前に視聴していた）富田学童保育所では、小学校4年生～6年生の児童の混合クラスで、第1章～第3章を実践した。

## 【もくじ】

	ページ
1. 第1章 ごみの分別って知ってる？	1
2. 第2章 一緒に考えてみよう！	4
3. 第3章 今日からやってみよう！	6
4. 使用したワークシート	8
5. さらに効果的にするため	11

## 第1章 ごみ分別って知ってる？

講座名	ごみ削減講座 第1章		年月日	年 月 日 ( )	
テーマ	ごみ分別から削減へ				
ねらい	四日市市のごみ分別方法を知る。ごみ分別は、その後の処理（リサイクル、リユース、焼却）方法で決まることを知る。今のままで、ごみ分別をするだけでは足りないことを知る。				
対象	小4	所用時間	45分	人数	30名程度
準備物	プロジェクター、パソコン、延長コード、キッチンタイマー 班の数分用意する物：ごみ入り福袋※↓、四日市市分別ガイドブック、マーカー、付箋紙（大）				
活動内容		形態	時間	準備物・留意点	
○班分け作業 予め、ひと班4～5名のグループを作っておく。		全体	5	参加人数にもよるが、ひと班の人数は4・5名程度がよい	
○指導者・ファシリテーター（以下、F）挨拶				アイスブレーキングでコミュニケーションの土台を作る。	
○アイスブレーキング 例)【しりとり自己紹介】 (F) からルール説明		班	5	(クラスに自由に意見を出し合える雰囲気が出来ている場合、省略可)	
① 最初に自己紹介する人を決める。 「四日市たろうです。」				【しりとり自己紹介】で伝えたいポイント	
② 前に自己紹介した人の名前の最後の文字から始まる自己紹介をする。 「うみや生き物が大好きな、吉崎はなこです。」・・・(2周目をしてよい)				・とっさに文章を考えて変な自己紹介になったとしても大丈夫な雰囲気を作り、闊達な発表を促す。	
③ (F) は「普段とは違う自己紹介はどうでしたか。」等参加者に質問を投げかけ、それぞれの感想を聞く。				※自己紹介 省略可	
④ ワークショップの約束事について説明 (11ページ参照)				約束事はワークショップ中も掲示しておき忘れないようにする。	
○動画『【ごみを減らす！第1章】ごみの分別って知ってる？～ごみを分別するだけでいいの？～【三重四日市】』を視聴		全体	5	YouTube を使う場合 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=w-Gfb3Xxfm8&amp;t=0s">https://www.youtube.com/watch?v=w-Gfb3Xxfm8&amp;t=0s</a> (3分 49秒程度)	
○分別ゲーム		班	20	※福袋：中が見えない袋に家庭から出るいらなくなったもの(生もの以外)を入れて班の数だけ用意したもの。	
①動画を最後まで見終わったら福袋※、付箋紙、マーカーを各班に一つずつ配布。(福袋は閉じた状態で)				・事前にごみの種類の名前や分別方法についての説明は行わず、普段の生活の中でどれくらい知っているのか、どんな意見が出るのかまずは試しにやってみる。	
(F)「この中には、きちんと分別するとまた役に立つかもしれない大切なものも入っています。皆さんは、四日市市に住んでいて、ごみの出し方も知っていますよね？」				・なかにはリユースのアイデアが出るかもしれないが、この時点では四日市市のごみ収集分別に当てはめて考えてもらうよう促す。	
「では、福袋を開けて分別してみてください。分別開始！」				四日市市『ごみガイドブック』は最新版のものを四日市市のホームページからPDFにてダウンロード可能。また、英語・スペイン語・ポルトガル語・中国	

②福袋を開封し、各班で相談し、付箋紙にごみの出し方やごみの種類名を書いて分別していく。意見を出し合っても分からなかったものは不明でまとめて良い。

③およそ分別が終わった班は、各班に一人ずつ班に残り分別結果を説明する人を決め、残りの人は他の班の結果を見て回る。

(F)「他の班の分別の結果を見て回りましょう。戻ったら、自分たちの分別を修正してもかまいません。分別を完成させてください。」

④四日市市『ごみガイドブック』を配布  
(F)「自分たちの班の分別と比べて、違いがないか調べてください。」

○四日市市以外の地域のごみの出し方は？

(F)「これまで四日市市のごみの出し方について考えました。では、四日市市以外の地域でも同じようなごみの出し方をしているのでしょうか。」各班で話し合ってみる。四日市以外に住んだことがある人や、親戚の家での様子について知っている人がいれば全体に発表。

(F)「ごみの分別は、その後の処理、リサイクルやリユースの流れで決まります。そのため、四日市以外の市町村に行けば、分別方法も変わります。」等意見をまとめる。

○(F)から問いかけ(発問)

「きちんと分別出来たら資源になるからそれだけで大丈夫?」「四日市市民30万人が出すごみの量はどのくらい?」

2分10秒から動画を見返して答えを確認。削減の必要性を感じてもらい、ここからがみんなで考えるべき大きな問題であることを告げて、第1章終了。

班

5

全体

5

語に対応したごみ分別アプリ『さんあ〜る』も活用できる。

WEB版)

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000001550/index.html>

スマートフォンアプリ版)

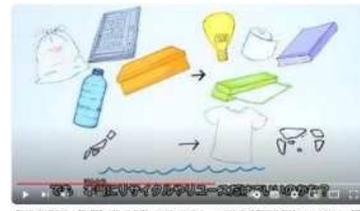
<ダウンロード>

Google Play

App Store



・日本以外についてもごみの分別について知っていることがあれば、より関心が広がるきっかけに。



動画2:10

四日市市の一日のごみ排出量:

人口約30万人×約1kg/人=30万kg  
=300t ≒ 飛行機1機分

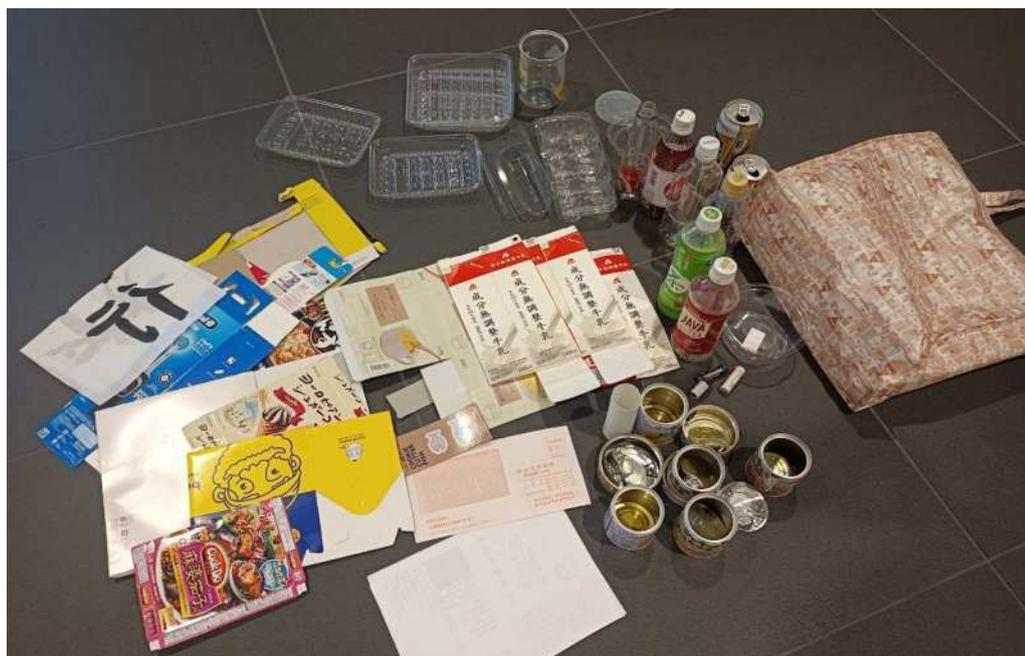
『四日市市ごみ処理基本計画』等の活用。

## 準備物の補足説明)

ごみ入り福袋を班の数だけ用意。(中身が分からないようにしておく))



分別に迷いやすい使用済みの紙や、2種類以上の素材でできているもの、分別にひと手間必要なものをそれぞれの袋の中に入れて用意しておく。(各袋の中身は違う)



分別不十分で混入されると困るものや、集積所への出し方に注意が必要なものなど、特に伝えたいことに関連したものをに入れておくのがお勧め。



リサイクルマークがあるか。電池の外し忘れが無いか。中身を使い切っているか。



古着は洗濯して濡れないようにして出しているか。

## 2. 第2章 一緒に考えてみよう！

講座名	ごみ削減講座 第2章		年月日	年 月 日 ( )	
テーマ	ごみ分別から削減へ				
ねらい	ごみの削減にはどんなアイデアがあるのか、自分の生活と照らし合わせながら考えてみる。 積極的にワークに取り組むことで、ごみ削減アイデアを実践したいと思う。 どうしてもごみが出る時はどうしたらよいかを考え始める。				
対象	小4	所用時間	45分	人数	30名程度
準備物	プロジェクター、パソコン、延長コード、キッチンタイマー、四隅クイズのシート4種類、ワークシート①、ごみ削減動画、手持ちマイクのおもちゃ				
活動内容		形態	時間	準備物・留意点	
○班分け作業 予め、ひと班4～5名のグループを作っておく。第1章と続けて行う場合、班を変えてもよい。(11ページ参照)				お約束事は第1章の最初に説明しているが、全員がワークショップに気持ちよく参加できるように毎回説明する。	
○ワークショップの約束事 (11ページ参照)		全体	5		
○クイズ『どうかなあ??』 場面を想定して、当てはまる答えのところに移動する。 クラス四隅に 『そう思う』 『そう思わない』 『まあまあそう思う』 『めっちゃそう思う』 の4択シートを貼っておく。 (クイズ例 買い物には必ずマイバッグを持参すべきだ) (F)の合図で4隅のどこかに移動する。 必ず、自分で考えて行動をすること。 (F)は、集まったグループにインタビューする。 どうしてそう考えたか聞いて、全体に発表してもらおう。発表を聞いて、考えを変えてもよい。インタビューと発表を繰り返し、みんなで考えを深めていく。決まった正解は無いので、臨機応変に。		全体	10	『そう思う』 『そう思わない』 『まあまあそう思う』 『めっちゃそう思う』の項目を A4サイズの紙に一枚ずつ大きく書く 計4枚  (F)は、手持ちマイクなどを使って、盛り上げる。子どもたちが自分の意見を言いやすいように場をつくる。	
○動画『【ごみを減らす！第2章】一緒に考えてみよう～ごみの少ない生活できているかな?～【三重四日市】』を視聴。 3分01秒のところまで見る。  (F)から問いかけ(発問) 「リデュースってなんだっけ？」リデュースの確認。		全体	5	YouTubeを使う場合 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=EJtMb+QV-lQ&amp;t=1s">https://www.youtube.com/watch?v=EJtMb+QV-lQ&amp;t=1s</a> (4分27秒程度)  動画3:01	

<p>○『ごみを減らせるヒントは見つかったかな?』ワークシート記入（おススメは紙媒体）各班、動画内の1つのテーマを選びワークシート「わたしは『○○』のごみについて考えます!」をやる。 1人1枚書く。</p>	個人	10	ワークシート①の配布
<p>○書いた内容を元にグループ内で話し合い、良いと思うアイデアのベスト3を決める。各班からいいと思ったアイデアを発表してもらう。ワークシートに各班、ベスト3のナンバリングもしてもらうと提出後わかりやすい。</p>	班	10	<p>(F)は、各班を回りながら、考えの進まない班に声掛けやヒントを与えていく。</p> <p>時間を見ながら、発表する班の数を調整 発表出来なかった班の意見は後日、(F)が伝えてもよい。ワークシートを提出させる。</p>
<p>○動画の残りをみる→第3章に繋げる</p>	全体	5	どうしても出てしまうごみ、どうすればいいのかと課題を残して、終わる。

### 3. 第3章 今日からやってみよう!

講座名	ごみ削減講座 第3章		年月日	年 月 日 ( )	
テーマ	ごみを減らすこと リデュース				
ねらい	ごみを減らすことは、資源を守ることに繋がることを知る。また、資源には限りがあることも知る。ワークショップを通じて、私たちにできるリデュースの取り組みを考える。私たちのくらしは循環の中にあり、身の回りにどんな循環があるかを知る。ワークショップを通じてリデュースや循環へのアイデアが出る。また、くらしの中でリデュース、循環を意識するようになる。				
対象	小4	所用時間	45分	人数	30名程度
準備物	プロジェクター、パソコン、延長コード、キッチンタイマー、4種類(木、金属、陶器、プラスチック)のスプーン 班の数分用意する物：マーカー、付箋紙(大) ワークシート②③				
活動内容		形態	時間	準備物・留意点	
<p>○班に分かれておく</p> <p>これまでの学習を振り返える。3Rを再認識。</p> <p>①これまでごみについてどんな勉強をしたか聞く キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3R</li> <li>・クリーンセンター見学</li> <li>・パッカー車がきた</li> <li>・夏休みの宿題(食品ロス)など</li> </ul> <p>②「3R、自分や家族でやっていることありますか?」と質問し、何人かに発言してもらおう。</p>		全体	5	<p>これまでの授業の内容、宿題を確認しておく。</p> <p>ワークシート②(リデュース取り組み)をタブレットに配信するか、プリントして配布できるようにしておく。</p> <p>↓</p> <p>回答がない場合、気づきになるキーワードを伝える。</p> <p>自分や家族がやっていることを全体で共有する。動画視聴の前に、ごみについて考える意識へ導く。</p>	
<p>○動画『【ごみを減らす!第3章】今日からやってみよう ~「わかった!」「勉強になった!」だけじゃなく...~【三重四日市】』を視聴。 1分07秒のところまで見る。 (F)「動画の中でごみ減量につながるものが紹介されていましたね」と振り返りを促す。</p>		全体	5	<p>YouTubeを使う場合 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=fVzMkUqL0w&amp;t=2s">https://www.youtube.com/watch?v=fVzMkUqL0w&amp;t=2s</a> (4分程度)</p>  <p>動画1:07</p>	
<p>○ワークシート『リデュース取り組み』を班で話し合いシートに記入、出た項目に『やろうと思う順位』『やると効果が大きい順位』を決めて完成させて、発表する。</p>		班	10	<p>半分の班に発表をしてもらう。</p> <p>※残りの班は、次のワークの発表とする。</p> <p>※時間を見て発表する班の数を調整</p>	
<p>○残りの動画を最後まで視聴(3分)</p>		全体	5	<p>動画を視聴中に、4種類(木、金属、陶器、プラスチック)のスプーンを教卓に準備する。</p>	
<p>○(F)から問いかけ(発問)</p> <p>(F)「減らそうと考えても、どうしてもごみが出てしまう。そんな場合、どう考えたらいいのかなあ」と問いかけ、『循環』という言葉を導く。</p> <p>(F)循環をイメージできる問いかけをする。全体に聞く。</p>		全体		<p>循環をイメージできる様に 1つ目のワークシートを発表していない班が発表。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「紙は何からできているか知っていますか？」</li> <li>・「牛乳パックは何に生まれ変わるか知っていますか？」</li> <li>・「10の牛乳パックでトイレットペーパー1つになります。」</li> </ul> <p>・4種類（木、金属、陶器、プラスチック）の Spoon を1つずつ見せて、「この中で循環できるものはあるでしょうか？」と問いかける。</p> <p>○ワークシート③（ごみ減らしにこれからできること／循環できること、もの）を各班で話し合っ てワークシートに記入し発表する。</p> <p>○（F）からまとめ 動画の最後、「待っていますよ～」と言っていましたね。 みなさんの新しいアイデアを待っていますよ！</p>	<p>全体</p> <p>班</p> <p>全体</p> <p>全体</p>	<p>5</p> <p>10</p> <p>5</p>	<p>&lt;循環について&gt;、 木は、自然界で循環できるが、プラスチックや陶器、金属の循環には、技術やエネルギー、社会のしくみが必要になることを考慮して、話し合いの中で考えを深めさせる。（教師用活用資料（マニュアル）p7も参照）</p> <p>ワークシート③配布準備 一つ目のワークシートの発表をしなかった班に発表してもらう。 ※時間を見て発表する班の数を調整</p> <p>新しいアイデア、仕組をこれからの暮らしの中で考えていくことにつなげるオープンエンドにする。</p>
--	--	-----------------------------	--

4. 使用したワークシート 【ワークシート①】

<p>わたしは『 <b>食事</b> 』のごみについて考えます！！</p>	<p>② こうやちやうと増えていってしまうと思うんです。 (例) <b>食べ残しをする</b></p>
<p>① こんなごみが出てくると思うんです。 (例) <b>生ごみ</b></p>	<p>③ こんなアイデアがあったらこれらのごみを減らす事ができると思うんです！ (例) <b>生ごみを土に返す方法</b></p>

## 【ワークシート②】

リデュース取り組み

班 名前：

始められそうな順番を付けてみてください

リデュース取り組みを考えてみよう	自分にできることを考えてみよう	やろうと思う順位	やると効果が大きいと思う順位
使い捨てのものをやめる	例：水をこぼした時、ティッシュで拭くのではなく、ふきんやタオルを使う		

**【ワークシート③】**

ごみ減らしにこれからできること／じゅんかんできること、もの

**班 名前：**

ごみ減らしにこれからできること／じゅんかんできること、もの

## 5. さらに効果的にするために

このプログラムは、参加型ワークショップの手法を活用して、参加者全員で考えていくプログラムになっています。このプログラムを効果的に実施するには、参加者全員が意見を自由に出し合っているのだという場づくりが大切になってきます。そのため、次のようなことを併せて行ってみたいかがででしょうか。

### 1) ワークショップの約束事を決める

最初に右記のような「ワークショップのお約束事」を説明し全員で確認します。

ここでは、安心して、どんどん意見をいっていいのだという雰囲気作りをします。

これらの言葉は、みんなが見える場所に掲示しておくのも一つの方法です。

#### ワークショップのお約束

- 平等・・・この授業では先生もみなさんもみんな平等です
- 否定・・・相手の意見や考えを否定しない  
わからない時は質問します
- 楽しい・・・色々な意見、考えを楽しみながらワークショップに参加します
- 発信・・・このワークショップでは否定されません！どんどん意見を出していきます
- 安心・・・正直な気持ちを出しても大丈夫です

### 2) アイスブレイキング

特に、集団がなじみのないメンバーでできているときには、ちょっとしたアクティビティでコミュニケーションをとることが、話しやすい場づくりに役立ちます。

#### ① バースデーライン

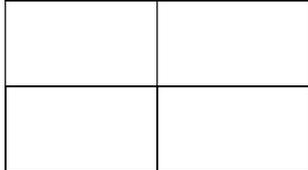
コミュニケーションを取りながら、班分けをするアクティビティ

活動内容	形態	時間	準備物・留意点
① 人の輪が作れるよう移動できるスペースを作る。 ② 4月1日の起点の場所を示す。 ③ (F) からルール説明。 「4月1日の起点の場所から誕生日が早い人の順に並んでください。ただし、会話をしないで、身振りだけでコミュニケーションをとってください。」 「スタート」 ④ おおよそ列が出来てきた時点で、ストップ。(何分で出来るか目標タイムを競っても良い) ⑤ 4月1日から順番に自分の誕生日を発表し、並びが間違っていたところは並び替える。 ⑥ (F) は「言葉を使わないコミュニケーションはどうだったか」等参加者に質問を投げかけ、それぞれの感想を聞く。	全体	15	【バースデーライン】で伝えたいポイント ・みんなで協力して、互いに伝え理解する。 ・自分の意見を伝えるのは言葉以外にも身振りや態度でも伝えることが出来ることに気づく。

○班分け作業 5つの班を作る場合の例 (F)は、最初の人から順番に1から5の番号を声掛けしていきます。同じ番号の人で班を作り、着席する。			
--	--	--	--

② 3つはホント1つはウソ

班内で最初にコミュニケーション、自己紹介を兼ねてやるアクティビティ

活動内容	形態	時間	準備物・留意点
A4用紙とマーカーを全員に配付します。 用紙は、4つに折って横に使うよう指示します(右図) 自分の好きなこと(好きな食べ物、スポーツなど)を4つ書きます。但し、1つはウソを書きます。 全員が書きあがったら、順番に表を見せながら、名前を言って、書いたことを読み上げます。 聞いている人は、どれがウソかを見つけて伝えます。 当たっても、当たらなくてもどれがウソかを話して交代します。	班	10	 <p>【ポイント】 班の中でのコミュニケーションに使います。単なる自己紹介より、ウソが入ることで真剣に聴くようになります。</p>

3) 循環について考えを深める

活動内容	形態	時間	準備物・留意点
(F) ミニレクチャー ○プラスチック自体は悪いものではない。食品を衛生的に保存したり、容器を軽量化して輸送時のエネルギー消費やCO2排出量を減らしたりするなどの良い点もあります。使う量や循環的に利用する仕組みがあれば、問題は少なくなるでしょう。  ○企業の取り組み例を紹介 ・「陶器は四日市市では破碎ごみとして回収をしています。美濃焼(岐阜県)は回収をして、細かく砕いて次の材料に混ぜて新しい陶器を作っています」 ・「世界初!捨てられる食器をリサイクルした肥料 BONEARTH®」 ・ナイキやアディダスは、海洋プラスチックを回収して原材料としてスポーツ用シューズを作っています。 ・海洋プラスチックの約50%を漁網などの漁具が占めていることから、米国のインターフェイス社では、フィリピンやカメルーンなどの漁村で漁網を引き揚げる仕事を作り出しています。そして、それらを原材料にカーペットタイルを製造しています。		10	(F)の解説は断定的にならないように  美濃焼のリサイクル リサイクル食器 Re50  <a href="https://oda-pottery.co.jp/%E7%89%B9%E9%9B%86/post-5952.html">https://oda-pottery.co.jp/%E7%89%B9%E9%9B%86/post-5952.html</a>  食器から肥料  <a href="https://www.nikko-tabletop.jp/blogs/journal/bonearth">https://www.nikko-tabletop.jp/blogs/journal/bonearth</a>